

ノースアグリナカムラ株式会社 取組み内容

2016年から有機栽培5.5haから始め現在は約31ha

本年度秋小麦 間作ホクシン8.1ha ドリル播きキタノカオリ3.4ha
播種

間作 ヘリ又はワイドスプレッター10a/20kg

ドリル播き10a/12kg

肥料 鶏糞のみ使用 窒素10a/4kg

融雪剤10a/100kg 雪解け起生期10a/100kg 5月上旬10a/100kg

ドリル播き元肥10a/100kg 間作は元肥なし

赤カビなし 平均収量10a/6～7俵

連作しない翌年大豆または緑肥

大豆 ユキシズカ 8.8ha ユキホマレ 4.5ha
播種 タバタプランター ユキシズカ10a/4.5kg
ユキホマレ10a/8kg

肥料

融雪剤に鶏糞10a/100kg 窒素10a/2kg のみ
機械除草カルチ6月～7月上旬までに1圃場6回以上
草手取り収穫までに3回
平均収量ユキシズカ4.3俵 ユキホマレ5俵
2年連作後間作小麦または緑肥

子実コーン 品種P9027 2.2ha

播種 5月上旬 タバタプランター 10a/約8,700粒

肥料 鶏糞のみ使用 窒素10a/4kg

元肥10a/200kg 追肥10a/100kg～150kg

機械除草カルチ 最低3回

草取り1回

平均収量 10a/800kg

連作しない 翌年大豆

緑肥 4ha 7月すき込み9月上旬秋小麦播種

10種類ブレンド

トウモロコシ・ライ麦・春まき小麦

ヘアリーベッチ・クリムゾンクローバー・大豆

ハゼリソウ・ヒマワリ・マリーゴールド・ダイコン

菌根菌が何種類もの植物とつながることで様々な微生物

植物が必要とする栄養・エネルギーが供給

生産における課題

小麦

品種の厳選 雑草対策 旧リノベ事業での雪ぐされ防除必須

大豆

播種・機械除草カルチの自動操舵 補助金

手取り除草の高齢化

虫による被害

子実コーン

収穫後の乾燥時間 乾燥機の水分計 金子農機SEL700-C使用

熱風スーパーエイトマルチ

緑肥

ブレンド緑肥は環境支払の緑肥加算があたらない

休閒緑肥は畑には良いが収入がないので面積増やせない

経営としての有機農業の課題と可能性

今後、有機農業面積が増えて品代、補助金などが下がる可能性がある
あるので心配

転換期間中での生産者、出荷業者、加工業者へのサポート

十勝音更町中川さん式機械除草カルチの技術共有